「すまないことをした。そのかわり、今度は少しおまけしてあげようかしら」という小さい声が、わたしの心のすみでささやいた。

が、それとほとんど同時に「いけない」と、わたしは、つぶやいた。

そうだ、さっきのは、やはり「ボール」でよかったのだ。ほんとうにそう考えたからだ。

この次、同じようなことがあったときには、「ストライク」にしてあげよう。審判はいいもの。ピッチャーけっこうまじめ。チャーなんだから、すぐに悪い心を打ち消したのはよかったな。「ほとんど同時に」だから、すぐに悪い心を打ち消したと思う。さっきまでは、心の中でさやいたな。「つぶやいた」だから、声に出してお。強く悪い心を打ち消しているな。本気で思ったな。すごく心の中で争っているな。「あぁ、だめだ。ちゃんと公平に正しいジャッジをしなければ、全くわたしは、何を考えているんだろう。ちゃんと正気にもどらなきゃ。」

まけよう。審判はいいもの。ピッチャーけっこうまじめ。チャーなんだから、すぐに悪い心を打ち消したと思う。さっきまでは、心の中で争っているな。本気で思ったな。すごく心の中でさやいたな。「つぶやいたな。強く悪い心を打ち消しているな。「あぁ、だめだ。ちゃんと公平に正しいジャッジをしなければ、全くわたしは、何を考えているんだろう。ちゃんと正気にもどらなきゃ。」

この次、同じようなことがあったときには、「ストライク」にしてあげよう。審判はいいもの。ピッチャーけっこうまじめ。チャーなんだから、すぐに悪い心を打ち消したと思う。さっきまでは、心の中で争っているな。本気で思ったな。すごく心の中でさやいたな。「つぶやいたな。強く悪い心を打ち消しているな。「あぁ、だめだ。ちゃんと公平に正しいジャッジをしなければ、全くわたしは、何を考えているんだろう。ちゃんと正気にもどらなきゃ。」

やっぱりルールはルールだと思って正しくしようと思ったのかな。「ほとんど同時に」だから、すぐに悪い心を打ち消したのはよかったな。「つぶやいたな。強く悪い心を打ち消したと思う。さっきまでは、心の中でさやいたな。「つぶやいたな。強く悪い心を打ち消しているな。本気で思ったな。すごく心の中で争っているな。「あぁ、だめだ。ちゃんと公平に正しいジャッジをしなければ、全くわたしは、何を考えているんだろう。ちゃんと正気にもどらなきゃ。」

いろんな審判がいる。ストライクと言う審判もいるかもしれないけれど、わたしは、ボールと考えたのだから、ボールしてもいいのだ。ピッチャーもバッターも真剣にプレーしているのに審判が、ボールを判定しなんか、ようやく、目が覚めたいかげんでは。審判の役目を果たせるといいな感じ。よく考えてやっぱりボールだろう。なんだこそ審判は、きわどいボールを判定してこそ審判の役目を果たせるといいな感じ。よく考えてやっぱりボールでいいんだと自信を持てたと思う。今度からは、もうまようことはないと思う。堂々と判定するだろう。